

～ひなまつり(3/1献立)～

ひなまつりとは、女の子の健やかな成長と幸せを願う行事です。もともと旧暦3月3日の行事で、桃の花の咲く時期にあたるので「桃の節句」とも呼ばれ、ひな人形を飾り、桃の花やひなあられ、ひしもちなどを供えます。



◀ ひなまつりに食べる縁起物 ▶

ちらしずし



女の子のおまつりにぴったりの、華やかな料理です。縁起の良い食べものを具としてふんだんに使うことで、将来の健康と幸せを願います。

はまぐり



はまぐりの2枚の貝がらは、同じ貝同士としかぴったり合いません。そこから、「よい相手と出会い、幸せに暮らせますように」という願いが込められています。

ひなあられ・ひしもち



ひなあられやひしもちの3色「赤、白、緑」にはそれぞれ意味があります。赤は『魔除け』、白は『長寿』、みどりは『健康』をあらわし、「女の子が健やかに成長し、幸せでいられるように」という願いが込められています。他にも、「桃の花、雪、新緑」で春の様子を表しているとも言われています。

～春の彼岸(3/18献立)～

3月20日は春分の日です。

春の彼岸は、春分の日をはさんだ前後一週間のことを言います。春分の日、昼と夜の長さが同じになることから、亡くなった人に近くなる日だと信じられていました。そのためお彼岸には、お墓やお寺をお参りし、お供え物をあげ、ご先祖様の供養をします。

お彼岸のお供え物は、春は「ぼたもち」秋は「おはぎ」を供えることが一般的です。ぼたもちとおはぎは同じ料理ですが、季節によって呼び名が変わります。春は、春に咲く牡丹の花にちなんで、丸い形をしたぼたもち、秋は秋に咲く萩の花にちなんで、細長い形をしたおはぎと名付けられました。



～卒業祝い(3/12、3/22献立)～

いよいよ卒業の時期に近づいてきました。3月13日は中学3年生、3月25日は小学6年生の卒業式です。給食では、12日と22日に卒業祝いとして、人気のあるデザートを出します。中学3年生は、小中学校生活最後の給食になります。生涯健康でいられるように、卒業後も給食のような栄養バランスの摂れた食事を心掛けてください！



みなさんにとって、今年度の給食の時間はいかがでしたか？

楽しくおいしく給食を食べながら、様々なことを学び、身につけてもらいたいと思い、栄養バランスが整っていることはもちろん、食経験が増やせるように多彩な献立を組み合わせたり、地域の食材や行事食を取り入れたりとしてきました。

給食の献立表や使用食材等を記載した詳細献立は沼田市のホームページで見ることができます。ぜひ、家庭の食事の参考にしてください。



↑ 沼田市給食センターのホームページにリンクします！